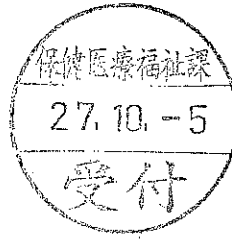


(様式例第11)



番号
平成27年 10月 5日

都道府県知事 殿

住所 鹿児島市下竜尾町4番16号
申請者
氏名 公益財団法人昭和会
今給黎総合病院
代表理事 今給黎 尚典

公益財団法人昭和会今給黎総合病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、平成26年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒892-8502 鹿児島県鹿児島市下竜尾町4番16号
氏名	公益財団法人昭和会 代表理事 今給黎総合病院

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

今給黎総合病院

3 所在の場所

〒892-8502 鹿児島県鹿児島市下竜尾町4番16号 電話 (099) 226 - 2211

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	450床	450床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 人工呼吸器一式、呼吸心拍監視装置、酸素吸入器、吸引器、救急蘇生カート、輸液ポンプ、シリンジポンプ、CHDF装置、除細動器、十二誘導心電図、ネブライザー、血液ガス分析装置、個人用透析装置、深部静脈血栓予防装置 病床数 8床
化学検査室	(主な設備) 全自動生化学分析装置(2台)、全自動免疫測定装置(2台)、全自動血液ガス分析装置(3台)、全自動凝固測定装置、長時間心電図記録解析装置、脳波計、血圧脈波検査装置、全自動輸血検査装置、冷却遠心機、遠心機
細菌検査室	(主な設備) 全自動細菌検査システム(マイクロスキャン) クラスⅡ生物キャビネット
病理検査室	(主な設備) 臓器撮影台、凍結切片作成装置、自動固定包埋装置、全自動免疫染色装置、パラフィン溶融器、パラフィン伸展器、滑走式マイクローム、顕微鏡、簡易ドラフト、PCRサイクラー、冷却遠心器、ナノドロップ(吸光度計)、オートクレーブ、ヒートブロック、自動免疫染色装置(ペンタナウルトラ BondⅢ ヒストステイナー)、バイオハザードキャビネット、超純水装置ミリポアEl, X、自動封入装置
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、電動解剖用鋸他1式、移動用台、臓器撮影台
研究室	(主な設備) 手術用顕微鏡
講義室	室数 1室 収容定員 250人
図書室	室数 1室 蔵書数 3507冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 救急車 1台 (酸素吸入器、電源装置、血圧計、ストレッチャー) リフト車 2台 (電源装置、ストレッチャー) 車椅子搬送用軽自動車 1台 保有台数 4台
医薬品情報管理室	〔専用室の場合〕床面積 21.5㎡

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	62.4%	算定期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	97.6%		
算出根拠	A：紹介患者の数		3,799人
	B：初診患者の数		6,085人
	C：逆紹介患者の数		5,936人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考	
1	医師	松永 俊二	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
2	医師	山口 聡	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
3	医師	石田 育男	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
4	医師	川畑 直也	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
5	医師	宮口 文宏	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
6	医師	堀川 良治	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
7	医師	江守 永	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
8	医師	今給黎 和典	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
9	医師	牟禮 洋	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
10	医師	濱之上 雅博	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
11	医師	野口 智弘	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
12	医師	益満 幸一郎	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
13	医師	吉満 工平	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
14	医師	米田 敏	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
15	医師	今給黎 尚幸	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
16	医師	山本 耕三	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	

17	医師	松添 大助	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
18	医師	小玉 哲史	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
19	医師	昇 卓夫	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
20	医師	福田 勝則	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
21	医師	鎌田 知子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
22	医師	高橋 範雅	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
23	医師	油井 一敬	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
24	医師	盛満 慎吾	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
25	医師	小濱 浩介	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
26	医師	川島 寿史	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
27	医師	新村 昌弘	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
28	医師	砂永 祐介	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
29	医師	松山 緑	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
30	医師	大場 一郎	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
31	医師	志岐 健三郎	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
32	医師	下舞 浩二	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
33	医師	吉永 英希	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
34	医師	今給黎 和幸	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	

35	医師	水流 弘文	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
36	医師	堀之内 兼一	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
37	医師	寺原 賢人	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
38	医師	加藤 明彦	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
39	医師	中川 映理子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
40	医師	中間 恵美子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
41	医師	丸山 有子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
42	医師	緒方 知佳	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
43	医師	高木 信介	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
44	医師	春山 勝紀	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
45	医師	外菌 寿典	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
46	医師	佐々木 彩乃	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
47	医師	西澤 輝彦	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
48	医師	松邨 宏之	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
49	医師	丸山 芳一	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
50	医師	臼元 亜可理	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
51	医師	甲斐 太	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
52	医師	大磯 陽子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	

53	医師	生野 博久	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
54	医師	三宅 健治	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
55	医師	中目 康彦	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
56	医師	立和田 得志	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
57	医師	千代丸 剛	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
58	医師	鶴田 雅史	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
59	医師	白濱 浩	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
60	医師	中禮 久彦	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
61	医師	鉾立 博文	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
62	医師	仮屋 圭佑	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
63	医師	池田 耕自	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
64	医師	西山 淳	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
65	医師	山下 順正	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
66	医師	村山 裕美	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
67	医師	鬼塚 一聡	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
68	医師	吉田 雅司	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
69	医師	玉井 真理子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
70	医師	久留 光博	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	

71	看護師	尾堂 知子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
72	看護師	布市 多美子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
73	看護師	松田 めぐみ	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
74	看護師	藺牟田 里美	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
75	看護師	窪田 みどり	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
76	看護師	二之宮 ルミ子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
77	看護師	熊迫 智枝	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
78	看護師	中馬 たまみ	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
79	看護師	長浜 千鶴子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
80	看護師	川口 政美	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
81	看護師	上村 美子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
82	看護師	加治屋 加代子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
83	看護師	岩川 るみ	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
84	看護師	有村 美和	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
85	看護師	中村 唯子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
86	看護師	青山 智子	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
87	看護師	同免木 直美	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	
88	看護師	佐々木 まゆみ	常勤 非常勤	専従 非専従	8時30～17時30分	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	ICU 8床
専用病床	5床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
特定集中治療室	244㎡	(主な設備) 人工呼吸器一式、呼吸心拍監視装置、酸素吸入器、吸引器、救急蘇生カート、輸液ポンプ、シリンジポンプ、CHDF装置、除細動器、十二誘導心電図、ネブライザー、血液ガス分析装置、個人用透析装置、深部静脈血栓予防装置 病床数 8床	可
救急外来	39.5㎡	(主な設備) ベッドサイドモニター、除細動器、人工呼吸器、十二誘導心電図、ハルスオキシメーター、超音波診断装置、救急蘇生カート、CO2モニター、無影灯、救急ストレッチャー、自動血圧計	可
手術室	365.7㎡	(主な設備) 麻酔器、生体監視モニター、内視鏡システム、外科用X線イメージ、手術用顕微鏡、手術台・無影灯、超音波凝固切開装置、超音波手術器、脳神経外科ヘッドライトシステム、電気メス、マイクロデブリッター、炭酸ガスレーザー、除細動器、腹腔鏡下手術器械、ハッチウェイ、高気圧蒸気滅菌装置、EOG滅菌装置、低温プラズマ滅菌器、深部静脈血栓予防装置、血液ガス分析装置、臨床化学分析装置、誘発電位筋電図検査装置	可
放射線装置施設	416㎡	(主な設備) MRI装置(1.5T)、CT装置(64列)2台、SPECT、リニアック(4,6,10MV)、一般撮影装置、血管造影装置(コンビーム方式)、FPD方式X線透視撮影装置、乳房撮影装置、マンモトム、ホーガールX線撮影装置、画像診断システム(PACS)、前立腺シト治療装置	可
臨床検査施設	281㎡	(主な設備) 全自動生化学分析装置(2台)、全自動免疫測定装置(2台)、全自動血液ガス分析装置(3台)、全自動凝固測定装置、長時間心電図記録解析装置、脳波計、血圧脈波検査装置、全自動輸血検査装置、冷却遠心機、遠心機、全自動細菌検査システム(マイクロスキヤン)、クラスII生物キャビネット	可

人工透析室	59m ²	(主な設備) 個人用透視装置、逆浸透精製水装置、持続緩除式血液濾過透析装置、観血的血压測定装置、非観血的血压測定装置、生体監視モニタ	可
-------	------------------	---	---

4 備考

救急病院を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）第1条第1項に基づき、鹿児島県知事の救急病院としての認定を受けている。

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	2,642人 (1,343人)
上記以外の救急患者の数	4,015人 (556人)
合計	6,657人 (1,899人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	4台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

- ・ 共同手術 69 件
- ・ 検査機器共同利用（画像診断を目的とした紹介患者数）
（MRI 447件、CT 526件、RI 38件） 計 1,011件
- ・ 共同利用を行った医療機関の延べ数 105施設
- ・ 開設者と直接関係のない医療機関の延べ数 105施設
- ・ 共同利用に係る病床の病床利用率 52%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

建物：常時共同利用可能な病床数 450床

設備：病院の診療設備全般

器械又は器具：病院の診療器械又は器具全般

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 ・ 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名：原口 一博

職 種：医療ソーシャルワーカー

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数

450床

開放型病院運営に関する規則

公益財団法人 昭和会 今給黎総合病院

(目的)

第1条

公益財団法人 昭和会 今給黎総合病院(以下「当院」という)として、円滑な医療連携を行い 地域医療の充実 及び 向上を図ることを目的とし、地域完結型の医療を目指すために、当院との連携を希望する医療機関に対し、当院の施設・設備を開放し、利用できるものとする。但し、当院の施設・設備を利用する場合は、当院の『登録医』とならなければならない(従来の診察・検査依頼などはこの限りではない)。

(委員会)

第2条

当院が『開放型病院』として円滑に機能するために、『開放病床運営調整委員会』を設置する。

(開放型病院登録医)

第3条

開放型病院を利用とする医療機関は、『登録医申請書(様式第1号)』にて「地域医療連携部」に申し出ることとする(口頭での申し出でも申請を受付けることとする)。

- 2 開放型病院登録医の契約については、契約日より2年間とし、双方の申し出がない場合は自動更新とする(登録完了後、登録証・名札を作成する)。
- 3 開放型病院登録医が死亡やその他の理由により医師免許を喪失したときは、自動的に契約を解除するものとする。

(開放病床の設置と利用)

第4条

当院の全ての病床を、地域の医療機関・医師との共同診療・指導・利用を行うことを目的に、開放病床として 450床 を設置する。

(共同診療・指導)

第5条

開放型病院登録医は、開放病床に紹介・入院した患者については、当院の医師・看護師・その他医療スタッフとの共同診療・指導を行うこととする。

- 2 開放型病院登録医は、当院で診察の際には当院所定の名札・白衣を着用することとする。
- 3 開放型病院登録医は、紹介した患者の電子カルテの参照 及び カルテへ記入することが出来る(所定の紙カルテ記入後、電子カルテに画像取り込みをする)。
- 4 開放型病院登録医は、当院に来院する場合は 原則として 平日の診療時間内 とする。
- 5 開放型病院登録医は、紹介した患者の検査・手術・カンファレンス等に立ち会うことが出来る。

(診療責任)

第6条

開放病床に入院中の患者の治療 及び 管理は、当院の責任において行うこととする。

- 2 当院での医療行為については、当院の内規を遵守する。

(雑則)

第7条

この規定で定めていない事項や変更・疑義が生じた場合は、『開放病床運営調整委員会』で協議することとする。

附 則

この規定は、平成24年11月1日より施行する。

登録医療機関の名簿

	医療機関名	開設者名	所属医療機関	主たる診療名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
1	八反丸病院	医療法人 慧圭会	鹿児島市下竜尾町3-28	整形・リハ・外科	無し
2	石原山下整形外科内科医院	医療法人 善仁会	鹿児島市鼓川町4-16	整形・内科・リハ	無し
3	宇根クリニック	宇根 文穂	鹿児島市玉里団地3-26-12	内科・神内・眼・リハ	無し
4	梅津整形外科医院	梅津 龍哉	鹿児島市川上町1959-25	整形・リハ	無し
5	緑ヶ丘クリニック	医療法人 緑陽の会	鹿児島市緑ヶ丘町6番11号	内科・消・児	無し
6	吉野生協クリニック	鹿児島医療生活協同組合	鹿児島市吉野町2381-52	内科・消・児	無し
7	四枝内科医院	医療法人 光樹会	鹿児島市吉野町2448-1	内科・循・消	無し
8	あんびる病院	医療法人 健生会	鹿児島市稲荷町12-6	内・リハ・循・呼・消・児	無し
9	下川クリニック	医療法人 優会	鹿児島市吉野町2288-2	皮・ア・外・呼・循・心	無し
10	鬼丸内科 循環器科	医療法人 高圓会	鹿児島市郡山町6513	循・内	無し
11	内村整形外科	医療法人 あおい会	鹿児島市照国町3-32	整形・リハ	無し
12	新牧医院	新牧 大彦	鹿児島市吉野町3073-147	内科・放	無し
13	くぼた内科クリニック	医療法人 溪心会	鹿児島市吉野町5373-18	内科・循	無し
14	内村川上内科	医療法人 明輝会	鹿児島市川上町2750-18	内・消・放・肝・呼・循	無し
15	耳鼻咽喉科 ミック	宮崎 康博	鹿児島市中央町6-8メディカルプラザ中央5F	耳・アレルギー	無し
16	健三郎今村クリニック	医療法人 健瑜会	鹿児島市山下町9番1号チャイムズビル3F	消 内	無し
17	上山クリニック	医療法人 上山クリニック	鹿児島市吉野町719-1	内・消・リハ	無し
18	うちむら脳神経外科クリニック	医療法人 けいゆう会	鹿児島市下伊敷1丁目43-2種子田ビル1F	脳外・神内	無し
19	白坂病院	医療法人 南和会	鹿児島市中央町13-14	整形・外科・リハ	無し
20	鮫島病院	医療法人 潤愛会	鹿児島市加治屋町9-8	肛・外・胃・内	無し
21	かねこクリニック	医療法人 あさひ会	鹿児島市上荒田8-6	外科・乳・放	無し
22	竹元クリニック	医療法人 悠美会	鹿児島市伊敷台2-17-20	泌・皮	無し
23	前田病院	医療法人 友愛会	鹿児島市中央町30-11	内・整・リハ	無し
24	整形外科 吉野台クリニック	医療法人 春和会	鹿児島市吉野町1486-1	整・リハ	無し
25	きじま内科	貴嶋 宏全	鹿児島市中央町23-21-2F	呼内・内・ア	無し
26	田村クリニック	田村 裕道	鹿児島市宇宿3丁目29-10	消内・外・肛	無し
27	貴島整形外科	医療法人 健和会	鹿児島市田上3丁目12-13	整形・リハ	無し
28	沖野循環器病院	医療法人 秀愛会	鹿児島市西千石町13-30	内・呼・循・胃	無し
29	上別府内科 消化器科	上別府 篤行	鹿児島市吉野町2723-3	内・消・循	無し
30	森口病院	医療法人 寛容会	鹿児島市下田町1763番地	精神・内科	無し
31	守屋病院	医療法人 佑志会	日置市伊集院町徳重31	外・内・整形・リハ	無し
32	中目医院	中目 真彦	西之表市西之表7188	消内・胃・外・肛	無し
33	長島町国民健康保険鷹巣診療所	長島町長	出水郡長島町鷹巣1814	外・内・消・整・児	無し

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

平成26年	5月10日	今給黎スポーツフォーラム「肩肘の投球障害にならない工夫」	64名
	5月29日	がん・緩和ケア研修会「今日から使える精神腫瘍学 ～有効に精神医療を使ってもらうためのお願いも含めて～」	126名
	7月23日	市民公開講座「ヒトは死んだらどこに行くのか～緩和ケアの 立場から」	127名
	7月31日	健康教室「熱中症予防と対策・脱水状態に経口補水療法」	17名
	9月30日	健康教室「高齢者の肩と腰の痛みについて」	32名
	10月 5日	鹿児島県内皮膚・排出ケア認定看護師勉強会 「WOCに係わる平成26年度診療報酬改定について」	15名
	10月16日	鹿児島地区がん診療連携クリティカルパス説明会	148名
	10月25日	鹿児島県院内がん登録研修会「前立腺がんについて」 「標準登録様式について」	36名
	10月25日	第7回鹿児島駅周辺まち歩きさるっきんぐ上町シルミルコース 「メディカルコース」	20名
	11月10日	鹿児島外傷セミナー「脊椎損傷に対する急性期診療 ～脊損センターの方針～」	89名
	12月 6日	今給黎スポーツフォーラム「肩・肘障害の診断と理療」	77名
平成27年	2月28日	DUMO理論オープンセミナー「靴とインソールを活用した 最新の問題解決テクニック」	33名
	3月13日	口腔ケア講演会「千鳥橋病院における口腔ケアの実際」	101名
	3月18日	がん・緩和ケア研修会「在宅緩和ケアの実際～訪問看護の 立場から～」	
	3月20日	がん診断講座	54名

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	15回
(2) (1) の合計研修者数	1003人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 ・無

イ 研修委員会設置の有無 ・無

ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験 年数	特記事項
昇 卓夫	医師	気管食 道・耳鼻 いんこう 科	院長 部長	43	教育責任者
牟禮 洋	医師	外科	副院長 部長	34	臨床研修指導医講 習会修了医

丸山 芳一	医師	神経内科	副院長 部長	34	臨床研修指導医講習会修了医
松永 俊二	医師	リハビリテーション科	副院長 部長	32	臨床研修指導医講習会修了医
生野 博久	医師	総合内科	部長	30	臨床研修指導医講習会修了医
瀧之上 雅博	医師	外科	部長	30	臨床研修指導医講習会修了医
堀之内 兼一	医師	小児科	部長	29	臨床研修指導医講習会修了医
加藤 明彦	医師	産婦人科	部長	21	臨床研修指導医講習会修了医
吉永 英希	医師	消化器内科	部長	22	臨床研修指導医講習会修了医
今給黎 和幸	医師	消化器内科	部長	18	臨床研修指導医講習会修了医
今給黎 尚幸	医師	呼吸器外科	科長	18	臨床研修指導医講習会修了医
大磯 陽子	医師	総合内科		14	臨床研修指導医講習会修了医
米田 敏	医師	呼吸外科	部長	28	臨床研修指導医講習会修了医
田代 幸恵	医師	病理診断科	部長	27	臨床研修指導医講習会修了医
長堂 竜維	医師	神経内科	部長	27	臨床研修指導医講習会修了医
石田 育男	医師	整形外科	部長	14	臨床研修指導医講習会修了医
玉田 泉	医師	小児科	部長	24	臨床研修指導医講習会修了医
西山 淳	医師	麻酔科		23	臨床研修指導医講習会修了医
銚立 博文	医師	放射線科	部長	23	臨床研修指導医講習会修了医
甲斐 太	医師	在宅医療科		15	臨床研修指導医講習会修了医
益満 幸一郎	医師	外科	部長	22	臨床研修指導医講習会修了医
三宅 健治	医師	総合内科		22	臨床研修指導医講習会修了医
久留 光博	医師	皮膚科	医長	9	臨床研修指導医講習会修了医
二木 真琴	医師	総合内科		27	臨床研修指導医講習会修了医
丸山 有子	医師	新生児内科	部長	21	臨床研修指導医講習会修了医
大場 一郎	医師	循環器内科	部長	22	臨床研修指導医講習会修了医
志岐 健三郎	医師	循環器内科	科長	21	臨床研修指導医講習会修了医

小玉 哲史	医師	緩和医療科	部長	23	臨床研修指導医講習会修了医
有村 智代	看護師		看護部長	42	
高橋 真理	薬剤師		薬剤部長	24	
室屋 純一	診療放射線技師		中央放射線部長	38	
村中 利也	臨床検査技師		中央臨床検査部長	33	
斎藤 謙一	臨床工学技士		臨床工学部技士長	27	
上平田 美樹	管理栄養士		栄養管理部長	19	
兒島 邦幸	作業療法士		リハビリテーション部長	22	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講義室	288m ²	(主な設備) 視聴覚施設、収容定員250名
医局3階	181.8m ²	(主な設備) 視聴覚施設、遠隔医療システム (TV電話) 内視鏡シミュレーション
講義室	288m ²	(主な設備) 視聴覚施設、収容定員250名
	m ²	(主な設備)
	m ²	(主な設備)

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	昇 卓夫 (院長)
管理担当者氏名	野口 桂一 (事務局長)

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		・電子カルテ ・診療情報管理室	電子カルテにて管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	昭和小事務局	ファイルにて管理
	救急医療の提供の実績	昭和小事務局	ファイルにて管理
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	昭和小事務局	ファイルにて管理
	閲覧実績	昭和小事務局	ファイルにて管理
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	昭和小事務局	ファイルにて管理

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	昇 卓夫 (院長)
閲覧担当者氏名	野口 桂一 (事務局長)
閲覧の求めに応じる場所	医療連携部
<p>閲覧の手続の概要</p> <p>① 閲覧申請書に必要事項を記入し医療連携部に提出 ② 医療連携部は閲覧の可否について閲覧責任者の決済を受ける ③ 可の場合、管理記録等の準備をし、医療連携部同席の上で閲覧者の閲覧に供する ④ 不可の場合、医療連携部は閲覧が不可となった理由を閲覧者に説明して承諾を得る</p>	

前年度の総閲覧件数		111件
閲覧者別	医師	69件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	42件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	1回	
委員会における議論の概要		
平成26年度 第1回 地域医療支援委員会 日時：平成27年2月25日（水）17:00～17:45 議事次第：①委員長の選出 西澤副院長を委員長に選出 ②年度業務報告 入院、救急、手術、紹介に関する指標の報告 紹介率・逆紹介率の報告、等 共同利用の報告 ③質疑応答 地域連携パスの今後の課題について 回復期リハビリテーション病棟について ④その他 ドクターカーの稼働について 救急車の受入状況について		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・患者サポート相談室・ その他（各外来診察室）
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	看護師・MSW・医療安全管理者・医事課職員
患者相談件数	4,697件
患者相談の概要	
<p>●相談内容分類</p> <ul style="list-style-type: none"> ①診療科相談・受診サポート ②生活・療養環境上の問題 ③経済・医療費・生活保護などに関する相談 ④退院・転院支援に関わる相談 ⑤がん相談 ⑥苦情・クレーム ⑦身体障害者手帳等 社会保障制度に関して ⑧介護保険に関して ⑨セカンドオピニオンに関して ⑩その他（医療安全も含む） <p>●対応内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ①症状に合わせて、診療科の紹介を行い、さらにスムーズに受診できるように配慮を行う ②生活・療養環境の問題点を整理し、社会的サービスの紹介などを行う ③経済的な社会保障制度の紹介や生活保護の申請サポートなどを行う ④適切な医療機関の紹介や在宅サポートの調整・連携をとる ⑤がん相談支援と連携をとり適切な対応を行う ⑥文書/電話/窓口対応を行い、病院全体での対応を行っている (週1回のミーティングを開催) ⑦ニーズに合わせたサービスの紹介や手続きのサポートを行う ⑧ニーズに合わせたサービスの紹介や担当ケアマネとの連絡/調整を行う ⑨受付/相談を行い、受診日などの調整を行う ⑩相談内容により、関係部門でさまざまな対応を行っている <p>※相談事案に関しては、病院としての対応を行うために、週1回のサポート会議をおこなっている。また、月一回のサービス委員会も開催している</p>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
・情報発信の方法、内容等の概要	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
<p>・退院調整部門の概要</p> <p>退院後もさまざまな生活ニーズや課題を持つ患者・家族に対して、適切な療養状況の選択支援等を行い、患者・家族にとって安心した退院の実現を促進する。</p> <p>[役割] 患者・家族が退院に向けた不安の軽減やあるいは解消されることにより、安心した療養生活を続けられるように、ソーシャルワーカーと看護師が協力して調整を図る。</p> <p>[期待する効果]</p> <ul style="list-style-type: none">・早朝から社会資源活用についての相談ができる ⇒患者・家族が安心して療養生活を送ることができる・入院時より退院後の生活を視野に入れたサポートを考慮する ⇒医療・看護の継続がスムーズに図れる・各担当者の専門的な視点からの意見を調整に反映される ⇒患者が目標を持って退院に望むことができる・地域医療機関・各職種との連携が図れる	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
<ul style="list-style-type: none">・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み	